熊谷組常務執行役員新事業開発本部長 梶山雅生（かじやま まさお）氏

この人に聞く

新たな収益の柱へ全社一丸

4月1日付で発足した新事業開発本部を率いる立場に就いた。収益源の多様化や他社との戦略的連携などを進め、従来の請負事業だけにとどまらない新たな柱の構築を目指す。挑戦する姿を積極的に発信し、意欲向上にもつなげていく。

◇

◆本部設置の狙いは

――新分野を狙う背景は。

「社会が成熟化している中で、既存の建設市場、いわゆる請負事業が質・量ともに変化すると予想している。さらに新型コロナウイルスの影響で、要求事項が変わってくるだろう。そうした新しいニーズに沿って対応することが新部署の狙いだ。本部内に『新事業推進室』『アライアンス推進室』『事業創生推進室』という三つを設置した。請負事業だけではなく、違う分野で利益・収益を確保するなど多様性を持って対応していく。いろいろなアンテナを伸ばして企画したい」

――新事業推進のターゲットは。

「PFIやPPP、コンセッション（公共施設等運営権）と、再生可能エネルギー事業の分野に取り組む。PPPやコンセッションは、パートナーを見極めながら取り組む。現状は個別の物件対応になっているが、将来的には得意分野を絞り込んでいきたい。再生可能エネルギーは、事業者側としての立ち位置も模索する」

――アライアンスへの対応は。

「住友林業との業務提携をより加速化したい。中高層木造建築を一緒に商品開発しており、前面に押し出していきたい。住友林業はバイオマス発電などにも力を入れている。再生可能エネルギーの面でも両者で知恵を出し合い、協業を加速したい。インドネシア・ジャカルタでの開発のため、シンガポールに不動産会社も設立しており、台湾などでも協業を展開したい。このほかの企業ともM&A（企業合併・買収）も含めて検討し、われわれにない分野と提携しながら新たなチャレンジを進め、請負の外側にあるものを目指す」

――事業創生の方向性は。

「既存の建設請負事業よりもニッチなところや、競争が少ないところ、目新しいところを掘り起こしていく。なかなか入れないが、入ると競争が少ないようなところがある。既存の物件ばかり追うと好不況の波に流される。市場が縮小する中で新たな利益を創出する目標だ」

――仕事を進める上で大事にすることは。

「事業本部などとの接着剤の役割を担い、全社一丸で取り組み、新しい収益の柱を立てていく。取り組みは社内外に発信していく。そうすることで会社全体のモチベーションも上がっていくはずだ。営業の最大のツールは笑顔。笑う門には福来たるではないが、しかめっ面をせずに楽しくやっていきたい」。

新型コロナ 飛沫から受け付け守る 後付け電動窓売り込み

ナブコシステム

ナブコシステム（東京都千代田区、山村望社長）は施設の受け付けカウンターなどに後付けできる電動窓の提案活動を強化する。新型コロナウイルスにより世の中の意識が今までと変わっている。窓を設置することで受け付け業務に当たる従業員だけでなく来訪者への飛沫（ひまつ）感染を防ぐ。感染症の恒久的な予防対策としてニーズを見極めながら販売活動を展開する。

提案するのは電動カウンター窓「オートウィンドウ」。スウェーデンのサシメーカー・SVALSON（スバルソン）が製造し、ナブコシステムが輸入、販売、メンテナンスを手掛ける。もともとはドライブスルーの寒気対策や金銭授受を行う金融機関の防犯対策として作られた。日本では2003年に販売を開始した。

開発営業部ユーテック商品課の長谷川敦史課長は「感染症から従業員を守るだけでなく、顧客も守るという考えが芽生えてきている」と市場動向を見る。衛生管理目的として提案に商機があると指摘する。実際に、欧州では新型コロナの流行後に引き合いや採用が増えているという。ナブコシステムがターゲットにするのは駅の対面業務、病院や薬局、銀行の受け付けカウンターや、病院内にあるナースステーションなど。

「来訪者や患者と、その対応者が安心できる」（長谷川課長）効果を期待する。

オートウィンドウは細めのアルミフレームでシンプルな見た目が特徴。スイッチを入れると上部フレームに内蔵されたモーターが稼働し窓を上下に動かす。耐久性も高く開閉頻度の多い場所にも設置可能。落下防止装置が標準装備されており、万が一、窓が落下してきた場合の安全対策も万全だ。

窓の操作はフットスイッチタイプや手かざしセンサーなど非接触化対応が可能。海外工場で製造するため、受注から納品まで約2カ月かかるという。価格は窓のサイズや数によって異なる。並行してSVALSON製の上下式手動ガラススクリーンCafe au La（カフェオレ）もオフィスやレストランのパーテーション用として積極提案する。

現在は透明なビニールシートなどを使っている簡易施設が多い。斎藤成人取締役兼執行役員は「オートウィンドウやカフェオレを取り付けた方が確実に恒久的な感染予防ができる。デザイン性の良さも含めて顧客にアピールする」としている。

海外ではドライブスルーに「オートウィンドウ」を導入している

リニューアルしたユニホーム

17年ぶりにユニホームをリニューアル

三井住建道路

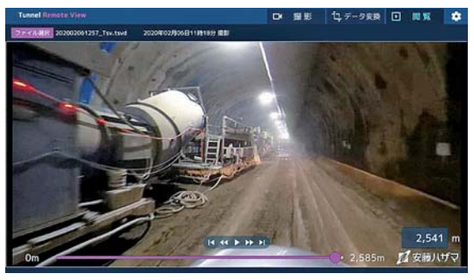
三井住建道路は8月1日にユニホームをリニューアルする。17年ぶりに刷新するのはブルゾンとパンツ、シャツ。ブルゾンとパンツは夏用と冬用をそろえる。製作は大手総合スポーツ用品メーカーのミズノが担当。人間工学に基づいた動きやすいウエア設計や、汗の臭いを抑える独自の生地などを取り入れた。ユニホームの機能などを高めてモチベーションをアップし、仕事でより高いパフォーマンスを発揮してもらう。

リニューアルでは現場の働きやすさを最大限考慮した。ミズノ独自のパターン設計「ダイナモーションフィット」を採用。手を上げたり、しゃがんだりする動作でもウエアがつっぱらず疲労感が軽減するという。シャツの背中に反射板を入れ、夜間作業の安全性を高めた。

デザインも改善した。従来のユニホームはグレー1色だった。リニューアルではグレーとネイビーのバイカラーに変更。アスファルトで汚れやすいパンツ、襟元や袖口に濃色のネイビーを入れることで汚れを目立ちにくくした。夏用のユニホームを着用した社員は「素材が軽く、汗でべたつかなそうだ」と話している。

ミズノ「ダイナモーションフィット」採用

山岳トンネル 全線の坑内可視化 安藤ハザマ エム・ソフト 360度カメラで撮影



トンネルリモートビューの閲覧画面

安藤ハザマは22日、エム・ソフト（東京都台東区、飯田昌宏社長）と共同で施工中の山岳トンネル全線の坑内状況を可視化する「トンネルリモートビュー」を開発したと発表した。360度カメラを搭載した車両で坑内の映像を取得し、日々変化する坑内状況を把握。トンネル全体の重機や仮設備の最適配置を行うなど、トンネル施工の合理化に役立てる。

トンネルリモートビューは、トンネル坑内の任意の位置からトンネル全線の坑内が全方位閲覧できる。GNSS（全球測位衛星システム）などが使用できないトンネル坑内が対象。360度映像が取得できる360度カメラ、トンネル坑内を走行する車両、車速センサー、データの変換・閲覧を行うパソコンで構成する。

車両に搭載した360度カメラでトンネル坑内全線を走行しながら映像を取得する。撮影位置情報は車速センサーによる車速から走行した距離を算出して取得する。走行終了後、映像とトンネル坑内での位置をひも付けたデータに専用ソフトで変換する。

データは専用ソフトから閲覧する。閲覧画面でカーソルをドラッグすると任意の位置に移動し、画面をドラッグすることで視点が回転。任意の方向から画像を確認できる。ネットワークを通じて画像データにアクセスすることで本社や支店などの遠隔地からも坑内の状況を確認できる。

システムは現在複数の現場で運用中。今後は山岳トンネル現場に適用し、システムの改良を進めていく。山岳トンネル工事以外にも既設トンネルや導水路などの維持管理工事の点検・調査や災害時の状況確認への活用も検討する。

山岳トンネル工事ではトンネル先端の切羽での掘削作業と並行して、後方数百メートルにわたってインバート工や覆工などの作業が行われる。資材運搬や掘削ずりの搬出は後方での作業を縫って行われるが、切羽の掘削やインバート工、覆工などの施工サイクルはそれぞれ異なり、工種の位置関係は日々変化する。全体作業を効率化するにはトンネル坑内全体の状況を把握し、重機や仮設備の配置を適切に管理することが必要になる。

ワーケーション 実証実験を開始

戸田建設と逗子市

戸田建設と神奈川県逗子市は「地方連携型ワーケーション」の実証実験を開始する。ワーケーションはワークとバケーションを合わせた造語で、休暇や研修を兼ねて短中期的に滞在して仕事をする取り組み。市が所有する逗子会館内の一部でリノベーション工事を実施し、テレワーク可能なオフィス空間を整備した。利用者に対し、利用満足度調査や継続利用の可能性などをアンケートし、効果を検証する。実証実験を経て、本格的な事業化を目指す。

地方創生と働き方改革への取り組みの一環。市はワーケーション自治体協議会に参加しており、地元の飲食やレジャーなどのコンテンツを紹介する。同社はオフィス整備の役割を担う。7月1日～8月31日がモニター利用期間で、2021年6月30日までを実証実験期間としている。

安全大会

労災撲滅へ職務全う

戸田建設東京支店と同社東京支店災害防止協力会は22日、東京都港区のメルパルク東京ホールで2020年度の安全衛生推進大会を開いた＝写真。同社や協力会社から約300人が参加した。

冒頭、市原卓常務執行役員東京支店長は「元請と協力会社の安全責任は両輪のバランスが大事になる。労働災害や事故の撲滅に向け職務を全うしなければいけない」と訴えた。遠藤和彦東京支店災害防止協力会会長は「労働災害の背景には安全指導の甘さや教育不足がある。今後の課題になる」と述べた。劇団員らと同社有志による安全衛生劇も行われた。

同大会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、最前列から3列まで空席にし飛沫（ひまつ）感染防止を図った。指定席にして出席者を記録するなどした。会場に入場する際は検温や消毒などを徹底。退場時も密集防止策として座席ごとに間隔を開けて誘導した。

衛生管理計画を確実に

奥村組東京支店は19日、東京都港区の同支店会議室で第49回安全大会を開いた。新型コロナウイルス対策のため、オンライン形式で開催。首都圏の現場など500カ所と東京支社会議室をウェブカメラでつなげた。会議室には同社の役員や協力会会長、安全表彰受賞者らが集まった。

冒頭、奥村太加典社長は「働き方改革やICT（情報通信技術）の活用などで労働環境が大きく変わる中でも基本理念は人命尊重だ」と強調。「いま一度役職員と協力会社が安全最優先の原点に立ち返り、災害を起こさない強い意志を持って安全衛生管理計画の重点実施事項を確実に行うことが重要だ」と述べた＝写真。

高村伸彦安全衛生協力会東京支部会長は「一人一人が安全に対する気持ちを引き締めて、災害の撲滅に向けたより実効性のある安全衛生活動を進めてほしい」と呼び掛けた。

自律飛行で壁面撮影 水路調査ロボ実験成功

西松建設と長崎大学海洋未来イノベーション機構

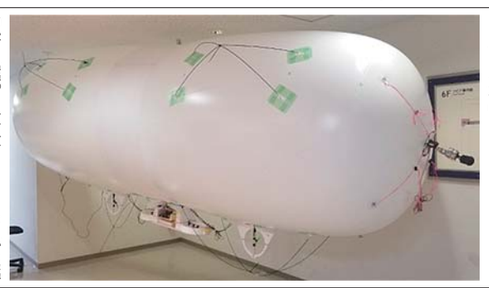
西松建設 長崎大学

（武田重信機構長）は、飛行船型水路トンネル調査ロボット「トンネルマンボウ」を開発し、水力発電所水路トンネル（全長約2・6キロ）の壁面を自律飛行で点検・撮影する実験に成功した。老朽化している農業用水路トンネルの点検で活用を検討する。

トンネルマンボウは、マルチローター型飛行船ロボット。水路トンネルを自律飛行して水路トンネル壁面全周を撮影し、点検する。搭載されたカメラユニットは1ピクセル程度の壁面の傷も確認可能。全長3・7メートルで飛行ドローン（小型無人機）と比較し消費電力が少なく、機器搭載ペイロードが大きいのが特徴。

実験では水路トンネルの断水時に自律飛行して壁面を点検した。連続して2度のトンネル点検に成功し、機能の再現性を検証。点検終了時のバッテリー消費量から、最長6キロまで飛行可能と推定した。

水力発電所の水路トンネルの老朽化が進行している。従来は人が断水時の水路トンネル内部に入って点検していたが、点検距離が長いことや崩落の危険があることなどから、ロボットによる点検が求められている。



実験に使われたトンネルマンボウ

ドローン活用サービス提供へ 業務提携 ドローン

飛島建設（7月1日）◇機構改革＝【企画本部】グループ事業統括部に不動産開発グループを新設【建築事業本部】建築統括部に技術支援グループを新設▽耐震ソリューション部を廃止▽建設コンシェルジュオフィスを廃止▽コンシェルジュゼネラルオフィスを新設▽建築統括部の意匠設計グループ、構造設計グループ、建築設備グループをコンシェルジュゼネラルオフィスに移管▽耐震ソリューション部の耐震設計グループ、耐震技術グループをコンシェルジュゼネラルオフィスに移管▽カスタマーサポートセンターをコンシェルジュゼネラルオフィスに移管◇人事＝【建築事業本部】▽副本部長兼コンシェルジュゼネラルオフィス部長（建築統括部長兼耐震ソリューション部長）桑原清▽建築統括部長兼建築統括部技術支援グループ部長、遠藤準▽コンシェルジュゼネラルオフィスコンシェルジュグループ部長（建設コンシェルジュグループ部長）左川雄人▽コンシェルジュゼネラルオフィスカスタマーサポートセンター部長（カスタマーサポートセンター部長）山下至▽コンシェルジュゼネラルオフィス意匠設計グループ部長（建築統括部意匠設計グループ部長）木林昭生▽コンシェルジュゼネラルオフィス構造設計グループ部長（建築統括部構造設計グループ部長）森和久▽コンシェルジュゼネラルオフィス建築設備グループ部長（建築統括部建築設備グループ部長）林宏幸▽コンシェルジュゼネラルオフィス耐震計グループ部長（耐震ソリューション部耐震設計グループ部長）高橋義弘▽コンシェルジュゼネラルオフィス耐震技術グループ部長（耐震ソリューション部耐震技術グループ部長）長塚典和【企画本部】グループ事業統括部不動産開発グループ部長、小島高明【大阪支店】建築部企画グループ部長、高村修司

建築、土木、設備、インサート
株式会社 三門
TEL 03-3553-1321(代)

DKC 人、都市、自然を技術でむすぶ。
都市環境を変えます
樹木保護に
ツリーキーパー
カラー舗装用鉄蓋
スライドカバー
DKC 第一機材株式会社
本社 03(3902)3141

鉄筋革命 鉄筋工法
安全組立作業・工期短縮・コストダウン〔製造元〕ノップキャリイ工業㈱／山本建設㈱
NETIS:CG-070017-VG NETIS:KK-190001-A
NOPキャリイ工法／スネーク工法
特許4150981号、4385236号
深礎工法：特許5527750号、6274596号
URL http://www.nopcarry.com
〔正規会員〕ノップキャリイ施工集団 創志の会 会長 山本建設株式会社
［全国区］総合建設業 株式会社関口建設 神戸市西区伊川谷町有瀬552 TEL:078-974-9551
［中部・関東地区］総合建設業 南豊工業株式会社 名古屋市中川区吉津2-901 TEL:052-432-7371
［長野地区］総合建設業 株式会社小宮山土木 長野県北佐久郡立科町大字牛鹿1616-1 TEL:0267-56-1299
［九州地区］深礎工 株式会社原田建設 大分県中津市大字加来1104-10 TEL:0979-33-0551
［全国区］型枠支保工 ジャパンノップ株式会社 大阪府東大阪市菱屋東2-4-20 TEL:072-965-1391
［関西地区］特別顧問鉄筋工事 有限会社山下鉄筋工業 兵庫県西宮市本町12-5 TEL:0789-34-7693
鉄筋工事 株式会社関西スチールフォーム 大阪市西淀川区西島1-1-205 TEL:06-6476-0811
鉄筋工事 矢野鉄筋工業株式会社 奈良県葛城市柿本192-1 TEL:0745-69-1113
鉄筋工事 株式会社浜田鉄筋 大阪府枚方市宮之阪5-12-6 TEL:072-847-1635
［北陸地区］鉄筋工事 新庄鉄筋鋼業株式会社 京都府福知山市野花669-74 TEL:0773-33-5205
［東海地区］鉄筋工事 山梨テクノスチール株式会社 甲府市小瀬町611-5 TEL:055-241-3134
［甲信越地区］鉄筋工事 株式会社ケーテツ小池鉄筋 長野県茅野市宮川3831-3 TEL:0266-73-3344
［和歌山地区］鉄筋工事 株式会社宮前一工業 和歌山市岩橋946-12 TEL:073-475-1391
［全国区］建設資材製造 株式会社京都スペーサー 堺市南区高尾1-527-1 TEL:072-274-2011
創志の会事務局：〒577-0062 東大阪市森河内東2-17-9 山本建設株式会社内 TEL06-4309-5513 FAX06-4309-5517